

中期事業計画

Growth Roadmap for 2020 & Beyond

■2020年 主要指標・目指す姿

主要指標	売上高成長	金額シェア	トランザクション	EBITDA ^{※1} マージン	ROE (自己資本当期純利益率)
目指す姿	売上高年平均成長率 +1.8% (2016年~2020年)	販売数量シェア以上の金額シェア拡大	即時消費パッケージ成長	EBITDAマージン 10%以上	ROE 6%以上

※1 利払い前・税引き前・減価償却前利益 (Earnings before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)

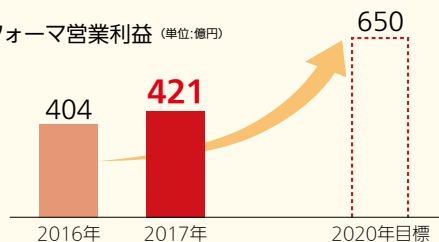
トピックス

■営業利益の進捗

経営統合シナジーの創出等により、2017年のプロフォーマ営業利益^{※2}は421億円(前年同期比4%増)となりました。2020年の営業利益目標650億円の達成に向け、取り組みは順調に進捗しています。

※2 2017年1月1日から経営統合したものと仮定し、2016年の実績を同様の基準で見積もった場合の営業利益

●プロフォーマ営業利益 (単位:億円)



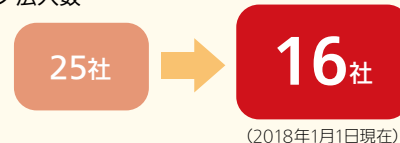
■自己株式の取得および公開買付けの実施

中期事業計画に掲げる効率的な資本構成の確立とROE改善に向け、当社株式を公開買付けの手法により取得することを2018年2月21日に発表しました。(買付予定数: 19,000,000株、公開買付けの申込期限: 3月22日) 現在、取得に向けた手続きを実施中です。

■当社グループにおける組織再編の実施

当社グループは「ひとつの会社・ひとつの経営」を基本原則のひとつとして、スピード感を持って組織や事業の統合を進めてきました。これをさらに推し進め、さらなる成長を実現すべく、2018年1月1日付で当社グループにおける組織再編を実施しました。これにより、当社の商号は「コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社」となり、グループ法人数は統合初日の25社から16社へ減少しました。

●グループ法人数



■業績連動型株式報酬制度の導入

業務執行取締役が、株価変動のメリットとリスクを株主のみならずと共有し、中長期的な企業価値向上および株価上昇への貢献意欲を従来以上に高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度を導入しました。本制度は、連続する3事業年度中の数値目標 (ROE、売上高等) を設定し、その達成率等に応じた数の当社普通株式および金銭を、報酬等として支給する業績連動型の株式報酬制度です。なお、当社および当社子会社の執行役員に対しても、同様の制度を導入しました。

CCBJH(コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス)グループの企業理念

The Route(ザ・ルート)/わたしたちの道

私たちのビジネスの原点はルート営業です。お客さま、お得意さまとともにさらなる発展を遂げるために、これまでのさまざまなルートに敬意を表し、無限の可能性を秘めた未来のルートを切り拓いてまいります。

ミッション

私たちが企業として存在する上での、社会に対して果たすべき「使命=存在価値」
みんなと地域の日々に、ハッピーな瞬間とさわやかさを

コーポレートアイデンティティ

経営の基盤。会社としてたいせつにしている価値観

■地域密着

私たちは、長年にわたって育んできた、環境や地域社会とのつながりをたいせつにし、共創価値(CSV)を実現していきます

■顧客起点

私たちは、常に顧客(お客さまとお得意さま)を中心に考え、顧客から学び、信頼されるパートナーをめざします

■品格

私たちは、人権を尊び、規範を重んじ、法令を遵守するとともに、常に高い倫理観を持ち続けます

■ダイバーシティ (多様性/多面性)

私たちは、社員一人ひとりの人権や個性を尊重し、能力を発揮できる環境を整え、様々な価値観やアイデアを積極的に取り入れます

カルチャー

地域社会や顧客に貢献していく企業であるための考え方や行動

- ① 「歴史と伝統」を重んじつつ、「未来」へ前進します
- ② 人生と仕事に「情熱」を燃やします
- ③ 「倫理」に基づく正しい判断をします
- ④ 自ら考え、「責任」ある行動をします
- ⑤ 楽しむことを忘れずに「挑戦」し続けます
- ⑥ 年齢や立場にとらわれず「敬意」をもって行動します
- ⑦ 「連携」をたいせつにします
- ⑧ 「シンプル・スピーディー」を追求します

The Route(ザ・ルート)

